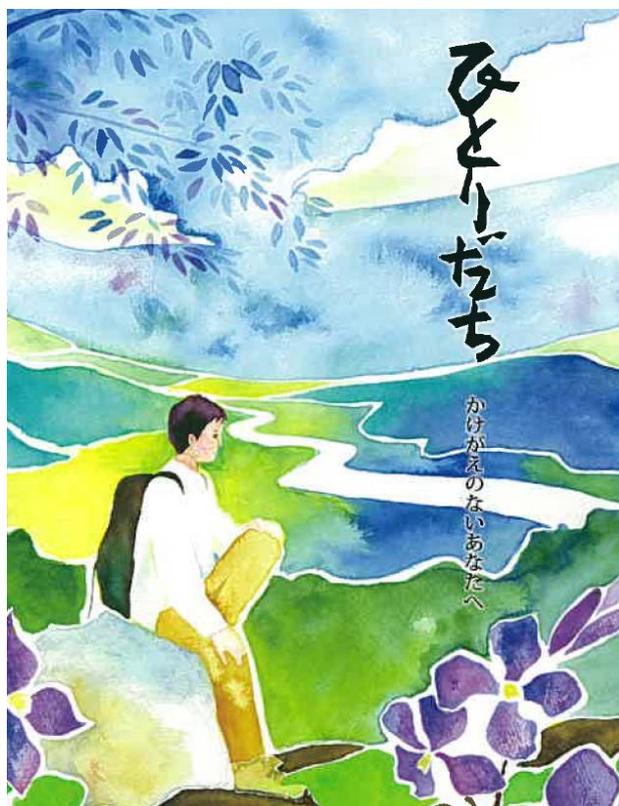


一般社団法人岐阜県校長会館刊行の「ひとりだち」に掲載

岐阜高専では、電気情報工学科3年の里中みゆさんが、一般社団法人岐阜県校長会館刊行の「ひとりだち」へ自身の中学3年生の時の進路経験、そして現在、電気情報工学科で友と切磋琢磨し合い、より具体的な夢を追って学ぶ日々を寄稿し掲載されました。

この書籍は、中学3年生を対象として、高校へ、社会へと進む中学生たちが、やがてぶつかるであろう課題や困難を自主的に解決し、ひとりだちしていくことを願って、海外日本人学校経験者や多くの先輩方からのメッセージを加え編集されたもので、昭和46年に初版され、令和2年5月の発行で12版目となります。



「ひとりだち」第12版  
令和2年5月21日発行

夢を追って  
岐阜工業高等専門学校 電気情報工学科 二年 里中 みゆ

進路選択

中学三年生に進級した春、第一回の進路調査がありました。私は理数系が得意で、将来は理科の先生になりたいと思っていました。大学に進学するため地元普通高校高校への進学を希望し、そのための勉強もしていましたが、文系がとて苦手で、受験まであと半年というのに志望校を決めかねていました。

そんなとき、「理科のことを専門的に学びたいなら高専にしたらどうだろう。編入試験を受けて大学に入れば、教員になることもできるよ。」と、高専を卒業し、私の学校で教えてくださっている先生から助言をいただきました。それまで高専のことを全く考えていなかったので驚きましたが、私の進路をしっかりと考えていただいた上でのアドバイスだと感じ、うれしく思いました。その後、いろいろと調べた結果、高専では、電気や電子について学習をしていることを知りました。

掲載の一部



「ひとりだち」掲載写真  
(製作実習の発表の様子)